

平成27年度 事業報告書

1 施設名 グループホームりゅうりゅう I II III

2 事業計画

1) りゅうりゅう I II III運営の理念・基本方針
事業所の理念や基本方針等と実現に向けた職員への働きかけについて記載すること。
<p>〈理念〉</p> <p>(1) 報告・連絡・相談 {支援情報の共有化}</p> <p>(2) 傾聴と共感 {知ること受け入れること}</p> <p>(3) 向上心を持ち感性を磨こう {目標と感じる心}</p> <p>・どんな時代も人に必要なのは人である。日々の体験から自分自身でご入居者とどう向き合うか、また自分自身のモチベーションをどう高めていけるか、職員会議などで、繰り返し意思を深めていく</p> <p>〈基本方針〉</p> <p>(1) 聴く事！待つ事！気づく事！！</p> <p>職員と多数の専門機関がチームを形成し多くの職種連携のもと、一人の人間にそれぞれの専門性を発揮しご入居者個人の「その人の求める幸せが実現」される事そして「人が人間らしい豊かな生活を送れる」ように支援する事を目指す</p>
<p>【考察】</p> <p>事業所の理念は概ね達成でき、又支援員にも定着出来てきたと思う。業務を遂行する中で相手を尊重する姿勢がお互いの成長に繋がっている。傾聴・共感する事で理念の実践が共有できた事は良かった。今後も、人材育成に力を入れ、ポジティブな考え方になるよう多くの経験を重ねて行く努力に努める。</p>

2) 管理者の事業に対する考え方
管理者として施設（事業）の意義をどう理解し、運営を行っていくかを記載すること。
<p>《りゅうりゅう I II III》</p> <p>◎ご入居者が当たり前の暮らしを守れるよう、支援者の考えを押し付けるのではなく、あくまでも相手が何を大切に思っているかを知り、それを生活の中で実現できるよう心がける。</p> <p>◎ご入居者の表に出されていないニーズを発見し客観的にあらゆる方向からの着目、人に対する洞察力と深い愛を持てる感性を培う。</p> <p>◎ご入居者の自立に向け、他の関係機関と連携を図り支援していく。</p> <p>◎管理者として、ご入居者の本音が（心の声）が届くグループホームになるよう努力する。</p> <p>◎事業所の基本理念を大切にしながら、内部コミュニケーションに力を入れ一緒に考えていける仲間づくりを遂行する。</p> <p>◎支援員の仕事はご入居者の意志を尊重する事と重んじる事を周知する。</p>
<p>【考察】</p>

サービスがあるから必要とされる仕事があり、ご入居者のニーズに答えるから私たち支援員の存在価値がある。

管理者としてご入居者様との関係やチームワーク、他の関係機関との連携できたと思うが、人員配置が不十分だった事は反省する。

経験を力とし更なるスキルアップに努めなければならない。